

取組事例 「出会い」から「高齢者」まで各ライフステージに応じた支援による人口減少時代への挑戦

(標津町)

標津町では、「出会い」から「子育て」、「若者」、「高齢者」などの各ライフステージに対応した切れ目のない政策のほか、住環境整備への支援、自然災害対策などにより「移住・定住」の促進を実施し、人口減少の抑制を図っている。

関連数値目標・KPI

	基準値 (H27)	実績 (R2末)	目標値 (R2末)	進捗率 (%)
社会増減の抑制	▲34人	▲26人	0人	76.5%
合計特殊出生率の向上	1.42	1.68	1.62	130%

取組の推進体制

行政のほか、産(農協、漁協、商工会)、学(小中高)、金(金融機関)、労(労働団体)、地(町内会連協)、福(社協、民児協)で構成する「総合戦略推進会議」を設置、検証の場としている。

取組事例

子育ての支援

- 主な取組
 - ・出産祝い金を5万～50万円支給。
 - ・幼保連携型認定こども園の使用料を、6か月～2歳児は国基準の1/4に軽減。
 - ・高校生までの医療費を無料化。
 - ・健診費用の助成などによる、妊産婦への支援を強化
- 主な成果
 - ・合計特殊出生率が大きく伸びた。
 - ・子育て世代は転入超過へ転じた。



幼保連携型こども園をH28に供用開始

移住・定住の支援

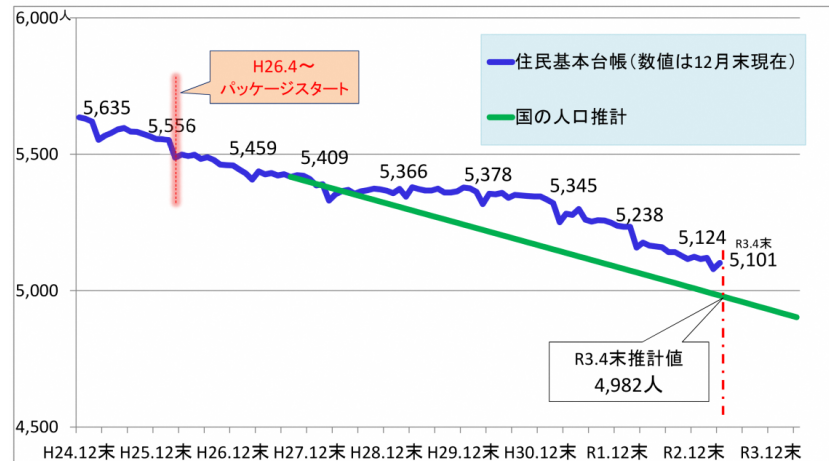
- 主な取組
 - ・住宅取得への助成。(移住者上乗せ)
 - ・あんしんサポートセンターの設置による高齢者の生活の支援。
 - ・移住相談専任のスタッフ配置などによる体制の強化と、効果的なPRを実施
- 主な成果
 - ・社会増減の抑制がある程度図られた。



「あんしんサポートセンター」による高齢者の生活支援

人口推移の状況

【標津町】人口の推移と推計値との比較について



町独自の「人口減少時代に挑戦する政策パッケージ」と「総合戦略」により社人研推計を上回る推移